

市場環境のチェック

【事業の機会】

変化の波からビジネスチャンスをつ捉えているか

- 変化の大きな潮流である、「技術革新」「経済のソフト化・サービス化」「国際化」「高齢化社会」「環境問題」などに対応しているか
- 規制緩和がどんな新しいビジネスチャンスを生み出すか、予測をしているか
- 市場調査など事業機会を据える活動をタイムリーに行なっているか
- 新規事業の検討や展開が実行されているか
- 現在投入している製品やサービスが時代のニーズをつ捉えるなど“追い風”に乗っているか
- 戦略的な事業提携や共同化・融合化など他企業との連携を検討しているか

【市場の脅威】

市場の衰退や競争の激化などの脅威は存在するか

- 新規参入者が多くなり競争が激化することで自社の市場シェアが低下している
- 現在扱っている製品やサービスの市場自体が衰退している
- 地域産業や業界自体が成熟または衰退している
- 顧客や親企業の要求（品質・機能の向上、低価格、多品種少量の納品条件など）が厳しくなっている
- 法制度の改正により新たな対応が求められるなど、大きなダメージを受ける心配がある
- 取引先の倒産や災害・事故など突発的に発生する危機に対しての心配が大きい

【自社の強み】

競合他社に負けない強みを保有しているか

- ニッチ（すき間）市場において、他社をまったく寄せ付けない“オンリーワン”の地位を築いているか
- 利害関係者（取引先、株主、金融機関、顧客）の信頼感や製品の高いブランド力を得ているか
- 好立地や最新鋭の設備、許認可・免許・のれんなどの強みとなる所有資産や既得権を有しているか
- 製品の研究・開発や事業の企画などのための独創性・創造性に長けているか
- 強力な営業組織を有するなど販売力・営業力に長けているか
- 自社内での情報化が進んでおり、情報の収集や分析などに強みを発揮しているか
- 社員が自社の事業に社会的意義を感じ日々明るく前向きに仕事に取り組んでいるか

【自社の弱み】

自社の経営資源に弱点は存在するか

- 社員の高齢化が進んでおり組織活力の減退や人件費の高騰に悩んでいる
- 人材確保が困難になっており優秀な社員の不足に悩んでいる
- 資金調達力の弱さや財務基盤の弱さに心配がある
- 単一のしかも付加価値の低い製品・サービスに事業構造が偏っている
- 革新に対する抵抗と保守的な企業風土が根付いてしまっている

機械設備などの陳腐化や社内ルールなど制度疲労が進んでいる